

令和3年度岩倉市当初予算案について

1 全体の特徴

市長就任2期目の最初の当初予算案となります。1期目から継続するまちづくり目標の達成に向けた新たな政策の5本柱と、最優先課題であります「新型コロナウイルス感染症対策」に取り組んでいきます。

令和3年度当初予算は、令和3年1月の岩倉市長選挙の執行と編成時期が重なったことから、新規事業や政策的な事業の一部については、令和3年6月議会以降に係る予算を提出する予定としています。

本市は、令和3年12月1日に市制50周年を迎えます。この50周年という大きな節目を市民の皆様とお祝いするため、50周年記念事業として、クラウドファンディングを含め、ふるさといわくら応援寄附金でいただいた2,976万円を活用し、新規事業と既存事業を合わせ、30を超える事業を行います。いずれの事業も実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を行うとともに、感染状況等を注意深く見極め、適切に対応してまいります。ワクチン接種についても、集団と個別接種を併用して実施するための関係予算を計上しています。

一般会計と4つの特別会計、上・下水道事業会計を含めた予算総額では、前年比2.8%減の合計265億7,279万3千円としています。

2 一般会計

【歳出】 目的別予算で増減の多い科目

△減額の多い科目 (千円、%)

款	令和3年度	比較	前年比	減の要因
7 土木費	1,377,415	△ 260,906	△ 15.9	名鉄石仏駅東側の駅舎建設や周辺道路整備、夢さくら公園整備事業の完了。継続事業の石仏公園や桜通線街路改良事業に係る用地取得等の差異による減。
2 総務費	1,728,998	△ 185,065	△ 9.7	市制50周年記念事業は増としていますが、市役所庁舎に係る中央監視装置の更新や屋上防水工事の完了、公共施設整備基金への積立金の減や国勢調査の終了。
9 教育費	1,487,870	△ 159,611	△ 9.7	南部中学校南館屋上防水工事は皆増としていますが、下田南遺跡発掘調査や総合体育文化センターアリーナ水銀灯のLED化の完了による減。

○増額の多い科目

款	令和3年度	比較	前年比	増の要因
3 民生費	7,093,028	219,375	3.2	医療・介護の給付費や保育所の整備費の増
4 衛生費	1,563,726	153,673	10.9	新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種に対応する経費の計上

【歳入】 市 税 65億5,460万円（前年比△2億8,440万円減、4.2%減）

（内訳） 個人市民税25億9,900万円（前年比△2億9,630万円減、10.2%減）
法人市民税 2億2,850万円（前年比△2,320万円減、9.2%減）
固定資産税28億3,520万円（前年比 3,680万円増、1.3%増）
軽自動車・たばこ・都市計画税8億9,190万円（前年比△170万円減、0.2%減）

【主な基金残高】

財政調整基金 8億円（令和2年度末）→7億5,000万円（令和3年度末）
減債基金 6億円（令和2年度末）→2億円（令和3年度末）
公共施設整備基金 4億4,000万円（令和2年度末）→4億円（令和3年度末）

【市債残高】

114億8,200万円（令和2年度末）→115億7,400万円（令和3年度末）

3 特別会計等

・令和3年度岩倉市当初予算の概要 4～33ページ